

令和3年度土地改良補償士資格試験問題の出題範囲と形式及び採点基準

問題の出題範囲と形式	配分点数	合格点	備考
記述試験			(試験時間)
<p>問題1 あなたが経験した土地改良事業に関する用地測量、用地調査、用地補償業務の中で、発注者又は受注者の立場から次の項目について全体で1,600字以内で述べよ。</p> <p>(1) 土地改良補償士の主たる業務内容</p> <p>(2) あなたの経験した業務における立場と役割</p> <p>(3) 業務上の検討課題と解決策、又は補償の検討項目と内容等</p>	40点	20点以上	10:30～ 12:00 (90分)
休憩 (答案用紙回収時間を含む。)			(60分)
<p>問題2 公共事業の施行に伴う公共補償基準要綱の性格及び補償額算定の方法における建設費の概要について、800字以内で述べよ。</p>	30点	15点以上	13:00～ 15:00 (120分)
<p>問題3 土地改良施設の引継ぎ準備及び国営更新事業実施に伴う管理委託施設等の取扱いについて、その内容を800字以内で述べよ。</p>	30点	15点以上	
合計	100点	60点以上	
<p>[注]</p> <p>(1) 合格点は、それぞれの問題の配分点数の5割以上で、合計が60点以上とする。</p> <p>(2) 上記による採点結果を踏まえた合否の判定は、「土地改良補償士運営委員会」において行う。</p>			